

西建協だより

353号

2023年12月



HPアドレス

新型コロナウイルスの5類感染症分類に移行した本年度は、協会事業や各種行事も以前の開催形式と同様に行うことが出来ております。本号にて今年も最終発行になります。今回も恒例企画として、地元西多摩から国や都に選出された議員の皆様様に、紙面にて今年一年を振り返ってもらうことをお願いいたします。

地域の声で、新たな西多摩へ

自由民主党幹事長代理
衆議院議員 井上 信治

榎森厚志理事長をはじめ西多摩建設業協会の皆さまが、平素より地域の発展や災害対策に多大なる貢献をされていることに敬意を表します。総会や親睦BBQ大会などで本年も大変お世話になったほか、今年も顧問にも就任させて頂きました。改めて1年間のご厚情に感謝を申し上げます。

西建協の皆さまにとっても、現下の物価高騰、人手不足や人件費の上昇が大きな課題になっていると伺っております。そのような中で、時間外労働の上限規制が建設業にも導入される「2024年問題」への対応等も進めて頂いており、大変有難く感じています。これらの課題を乗り越えて頂くため、国においては来年の通常国会で建設業法の改正を目指すこととしました。職種別に「標準労務費」を定めることなどにより、民間の受発注についても契約の適正化を図ってまいります。加えて、私も会員である「公共工物品質確保に関する議員連盟」においても、働き方改革の推進や適正な工期設定に向けて、担い手3法の改正も念頭に置いた検討作業を開始しました。公共事業関係費についても、2兆円規模の令和5年度補正予算を成立させ、来年度予算

案についても6兆円規模の計上を実現しました。建設事業者の経営を安定させ、また従業員の皆さまの賃上げ等にも繋げて頂くため、あらゆる手段を総動員してまいります。

地元・西多摩においても、皆さまと共に様々なインフラ整備や災害対策を進めてまいりました。特に、青梅インターチェンジ北側地区の土地区画整理事業や多摩都市モノレールの上北台〜箱根ヶ崎延伸については、私も長年累次にわたって自治体と共に国や東京都に働きかけ、それぞれ都市計画決定、都市計画素案の公表まで漕ぎ着けることができました。地域の活力を高めるこれら事業の着実な実施に向けて、私も引き続き尽力してまいりますので、皆さまのお力を貸して頂けましたら幸いです。最後に、政治資金に関して自由民主党の一部の政策集団で大きな問題が発生しましたことに、心からお詫びを申し上げます。私も、幹事長代理として党や政策集団のガバナンスを強化し、何としても国民の信頼を取り戻さなくてはならないという思いでおります。改めて襟を正し、国民のための政治に全力を尽くしてまいります。来年も、どうぞよろしくお願い致します。

『夜明け前』

東京都議会議員 田村 利光

2023年を一言で表現するならば、『底知れぬ暗闇のプールへ飛び込むたけに、跳躍台に立った年』とでも言えるのではないのでしょうか。

土木建設業界にとって、特に土木事業者にとって、24年問題を目前に控えた昨年は、『このままで行くと、東京のインフラを支え、有事の救い手となる土木建設業者を失うことになるかも知れない。』そんな

我々都議会自民党の訴えも、都庁には思うように響きませんでした。

それでも、JVモデル工事の制度見直しや、総合評価の新提案方式の検討など、一歩一歩ですが、前に進みつつある案件もあります。今年も特に、入札制度について、価格競争力の高い大手に対しても、中小企業が参入しやすく見える総合評価方式が、実は大手にとって有利に働いている現状をしっかりと都に認識させ、制度の中身、運用の見直しを訴えます。

また、様々なルールは整備できていても、現場でそれが実施されていない現状があります。これについては、都の職員のレベル向上と、工事ごとの点数が入札の評価に関わってくる制度の見直しを検討する必要があります。

この他、人手不足も大きな課題です。私は昨年『都立高校夏祭り』という西多摩の全都立高校が一堂に会し、日頃の生徒の活動を発表するイベントのお手伝いさせていただきました。実は、このイベントの目的の一つは、都立高校と地元中小企業を結びつけることでもあったのです。工業高校（現工科高校）からだけでなく、普通高校から西多摩の中小企業へ就職するルートを作りたいと思っています。

最後に、こんな言葉ををご紹介します。『夜明け前が一番暗い 春になる前が一番寒い』
今年も、ご支援ご指導よろしくお願致します。

令和5年を振り返って

東京都議会議員 森村 隆行

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。2020年1月に都内で最初の感染者が見つかり、その後約1200日間にわたり続いた新型コロナウイルス感染症のパンデミックが、感染症法上の分類が変更されたことで一段落を迎えました。年後半にかけて、さまざまな社会経済活動が活発化しましたが、大きな打撃を受けた地域経済や地域社会が本格的に回復するのは、令和6年以降にならうと思います。

私自身はこの間、都民ファーストの会の新型コロナウイルス感染症対策PTの座長として、日々刻々と変化する感染状況や社会情勢への対応をして参りましたが、令和5年9月には都議会の「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」の調査が終了、委員会を閉じたことでコロナ対応については一段落することとなりました。

一方で、ウイルスそのものが消滅したわけではなく、私からは都に対し①他の感染症に比して重い後遺症が長く続く傾向があるため、その対応は続けること②高齢者や障害者などハイリスク層に対する医療提供体制を維持すること③今後いつ発生するかわからない新興感染症に備えるため経験を活かすこと、これら3点を強く求めおいたところでした。

さて、令和5年は、青梅市の政治シーンにおいて二つの大きな動きに関わらせていただきました。一つには4月に行われた市議会議員選挙において私が代表を務める都民ファーストの会から11名の市議（目黒絵里市議と山崎善信市議）を初めて市議会に送ることができた点、そしてもう一つは11月に行われた青梅市長選挙において、大勢待利明新市長が誕生した点であります。

私としては、新体制の中で、都政と市政を緊密につなぐ役割をしっかりと果たしつつ、新しい市政においても、引き続き西多摩建設業協会の皆様との円滑なコミュニケーションが取られるよう努めていく所存です。どうか今後とも宜しくご指導ご鞭撻の程をお願い申し上げます。



～西建協 建設会館
年末年始
休館 お知らせ～

日時：12月29日～
1月4日まで

年明けは、1月5日からの
業務となりますので
よろしくお願致します。

令和5年を振り返って
東京都議会議員 清水 康子

一般社団法人西多摩建設業協会及び貴協会を構成する地元建設事業者の皆様におかれましては日頃より都政にご理解、ご協力を賜り、御礼申し上げます。

この一年は新型コロナウイルスからの回復に立ち向かった一年となりました。このパンデミックは経済社会に大きな影響を与え、建設業界も例外ではありませんでした。しかし、榎森理事長始め皆様が強く深く団結され、ご自身のご事業に加え、社会貢献活動にも積極的にご尽力されるお姿には大いに励まされました。

さて令和6年。都政でまず建設業界の2024年問題に、取り組みます。労働力不足と技術革新の課題と捉え、何度でも都政に意見し反映させて参ります。これは一つの業界にとどまらず、社会全体に影響を及ぼす課題でもあります。皆様としつかりと歩調を合わせ発言して参ります。

具体的には、東京都の部署によって、「書類のひな形が統一されていない」、「事務処理が煩雑」、「窓口ではペーパー化になっていない」など厳しい声を頂戴しております。このような課題に対し、私は決算特別委員会や財政委員会を取り上げ、電子調達システムがスタートしました。また、都用地の活用や建設業の働き方改革についても質問し、前向きな回答を頂きました。毎日、道からご挨拶し「都道と通学路」に取り組み質問、協議会を立ち上げ、お陰さまでつるつる温泉のある184号線、251号線の仮橋や万世橋を始め、大麦代・やまふる村のトイレ工事など前に進めることが出来ました。個人的には、外国人含め従業員の皆さまの横連携やイベントなどにも取り組みたいと思います。

最後になりますが、新しい年が貴協会並びに地元建設業界の皆様にとって素晴らしい年となることをお祈り申し上げます。令和6年もどうぞよろしくお願いいたします。

～ 西建協 令和5年度 技術講習会開催 ～

去る、11月30日、あきる野ルピアホールにて、令和5年度の技術講習会開催致しました。西多摩建設事務所、補修課野口裕司課長を講師にお招きし行われました。多数の皆様にご参加頂きありがとうございました。



～ 建設業年末年始労働災害防止強調期間 ～

期間：令和5年12月1日～
令和6年1月15日まで

スローガン：
無事故の歳末 明るい正月

無事故・無災害で新しい年を迎えられるよう、皆さま、作業に取り組みましょう。ご安全に

◇あ と が き

備えあれば患いなし

1923年9月1日11時58分、神奈川県西部を震源とするマグニチュード7.9の大型地震が発生しました。今年が100年目となる「関東大震災」と呼ばれています。昼食時と重なった事から、多くの火災が起き被害が拡大しました。災害はいつ起きるのかわかりません。‘ガスの元栓締める’‘感震ブレーカーを設置する’等の備えることを常日頃から意識して下さい。

～広報委員会～

西多摩エリア随一 国家試験受験対策予備校 市内日建学院でココだけ！
日建学院 青梅校 無料駐車場 完備 通学らくらく！
合格 のための受験対策講座
2024年度 開講講座のご案内

講座名	コース名	通常学費 (税込)	講義日程	開 講
1級土木施工管理技士	一次	¥308,000	火・木(夜間)	3月中旬
	二次本科	¥110,000	火・木(夜間)	7月下旬
2級土木施工管理技士	前期一次 ※1	¥209,000	月・水(夜間)	3月中旬
	後期一次二次	¥275,000	月・水(夜間)	6月下旬
1級建築施工管理技士	一次	¥308,000	火・木(夜間)	3月中旬
2級建築施工管理技士	前期一次 ※2	¥154,000	月・水(夜間)	3月中旬
	後期一次二次	¥220,000	月・水(夜間)	8月中旬
給水装置工事主任技術者		¥242,000	火・木(夜間)	8月上旬
おすすめ! 宅地建物取引士	スーパー本科	¥308,000	水(昼間)	4月中旬

※1 2級土木施工管理技士一次コース 2023年12月29日より価格改定 ¥209,000→¥242,000
※2 2級建築施工管理技士一次コース 2023年12月29日より価格改定 ¥154,000→¥176,000

毎年たくさんの有資格者が青梅校から誕生しています！
詳細は随時ご説明いたします。お気軽にお問い合わせください。
青梅認定校(西建協) 0428-22-6245 石川
日建学院 立川校 090-4171-6169 高橋かおり

11月事業計画

- 6日 経営講習会、事業委員会
- 10日 災害対策安全委員会
- 15日 総務委員会
- 17日 広報委員会352号編集
- 21日 西多摩地区建設業界暴力団等排除協議会 第18回会総会・研修会
- 22日 理事会
- 30日 土木技術講習会

12月事業計画

- 7日 第25回西多摩地区安全衛生大会(建災防)
- 7日 事業委員会
- 12日 炊き出し訓練 災害対策安全委員会
- 15日 広報委員会353号編集
- 18日 総務委員会
- 19日 理事会